

【行政医師の一日（医療局の1例）】

AM・PM：概ね自分の部署で業務を行っています。フレックス勤務（始業9:00など）をすることもあります。

昼休み：しっかり1時間休憩をとります。周りも同様に職場は消灯されます。

夕方：原則、定時退庁しています。働き方改革の一環で、局内全体にできるだけ時間内に終わらせる傾向です。なお、医療関係者に議論いただく大きな会議が年に数回あり、その際は夜まで業務します。

【主な業務内容】

・私の所属する課は、業務内容により複数のチームに分かれており、私は行政医師として協力できるチームに参加しています。

※課の業務の例

地域医療構想、よこはま保健医療プラン、医療に関する市民啓発、ICTを活用した地域医療連携ネットワーク、医療人材の確保、医療ビッグデータ活用 など

・私の日常の業務は、政策の検討に必要なデータ収集・分析、打ち合わせ、会議資料の作成などです。現場の生の声が重要なので、医師の方々を筆頭に関係者から話を聞いたり、現場に視察に行ったりと出張も時々あります。

・また、神奈川県医療計画や地域医療構想などの検討のため、神奈川県の担当部局など、色々な立場の方々と仕事をする機会があります。



【最後に】

当課は臨床現場とは異なり、患者さんと直接話をする機会は少ないですが、横浜市全体で物事を考えること、各種の制度との整合性など勉強させられることも多く、やりがいのある仕事をさせていただいています。